



高校生対象セミナー



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

三次元を測る作る

3Dスキャンと3Dプリンタ の仕組みを学ぼう

「ファブラボ」がいま世界的な一大ムーブメントになっています。「ファブラボ」とは、あらゆるものを自らつくることを目標にする、3Dプリンタや3Dスキャナなど最先端のパーソナルデジタル工作機械を備えたワークショップのことで、ものづくりを工場（組織）から自宅（個人）に解放する拠点として、また第三次産業「革命」を担う若者の孵卵器ともなっています。

大阪大学基礎工学部では、文部科学省の理数学生育成支援事業の取り組みの一環として、平成25年度に「デルタシグマ ファブラボ」を立ち上げました。「デルタシグマ ファブラボ」では、このものづくり革命の熱波を若い人に伝えるべく、春休みに高校生を対象としたセミナーを開催いたします。

この高校生セミナーでは、デジタルなものづくり製作に関する、3Dのプリント（造形）とそれに必要な3Dの計測（スキャン）の要素技術について、実際の機材のデモを交えて、分かりやすく紹介してゆきます。

参加者には、3Dプリンタや3Dスキャナーの実物を見ていただくだけでなく、実際にパソコンを操作して3Dデータを作成していただき、3Dプリントの体験をしてもらいます。

テレビや雑誌で話題の「3Dプリンタ」について勉強できるだけでなく、大阪大学の豊中キャンパスに入って、基礎工学部の先生や大学生と話ができる絶好の機会です。

参加を希望する高校生は、以下の本セミナーの専用ホームページの「参加申込」タブから、申込みをしてください。

日時：2014年3月28日(金) 13:00～15:00

場所：大阪大学豊中キャンパス 基礎工学国際棟

対象：個人の高校生（3学期時点での高校1、2年生。卒業予定者はご遠慮ください）

定員：10名程度（先着順、団体での参加はできません）

参加費：無料

申込：専用ホームページより お電話、Fax、郵送等での申込みは受け付けておりません。

主催：大阪大学基礎工学部 基礎工学オナーフラタニティプログラム

専用ホームページ

3d-seminar.jimdo.com